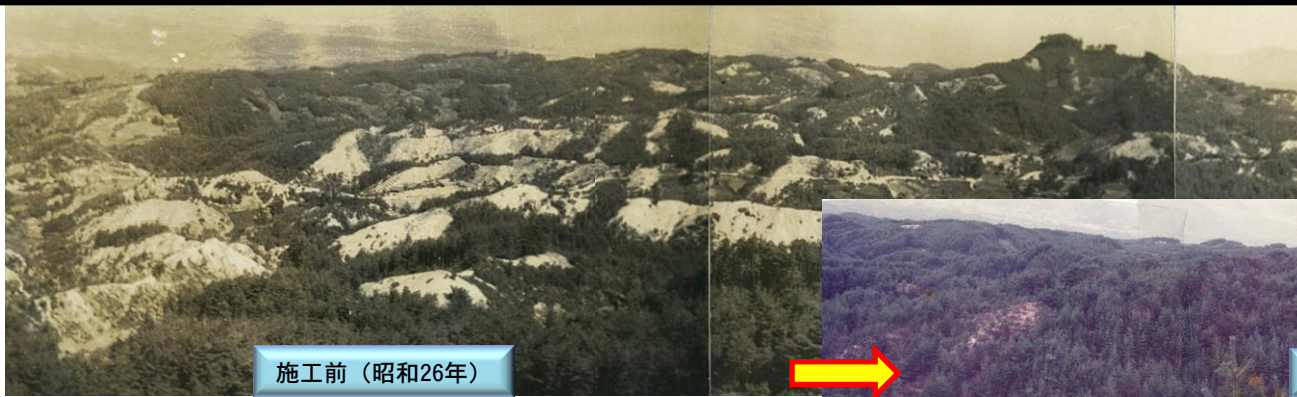


30 砂防学校と共に歩み官民一体となって取り組んだ上久堅地区の治山工事

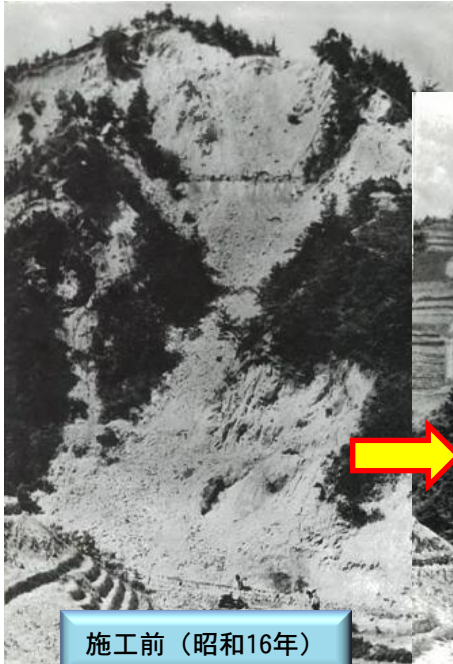
かみひさかた
長野県（飯田市）



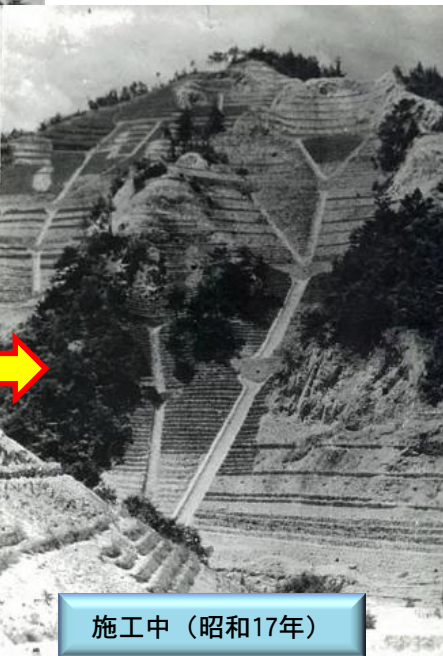
施工前（昭和26年）



施工後（昭和51年）



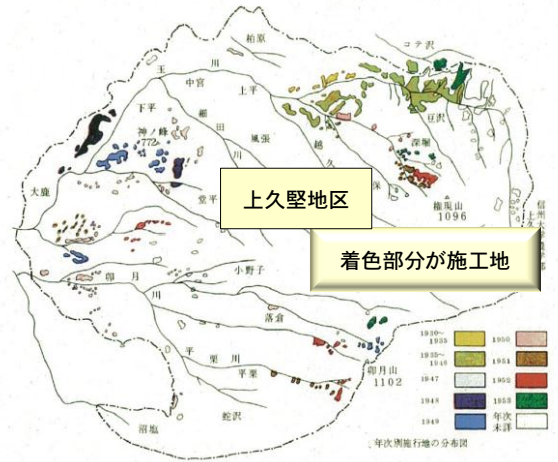
施工前（昭和16年）



施工中（昭和17年）



飯田市上久堅



○所在場所

長野県飯田市上久堅

○施設・工法の概要

- 溪間工（練積堰堤工、練積谷止工、練積床固工）
- 山腹工（山腹練積工、山腹空積工、練張水路工、空積水路工、石筋工、萱筋工、積苗工）

○解説

長野県の南部、飯田市上久堅地区（旧上久堅村）は、大正6年に長野県によって初めて治水事業が行われた地域ですが、その後県営補助事業、県直轄砂防事業、農林省（山林局）直轄事業と継続され、昭和22年（1947）には、林政統一により長野営林局に移管され、昭和31年まで民有林直轄治山事業を行ってきました。昭和26年に設立された村営の砂防学校と共に官民一体となって復旧に取り組み、150haとも言われたはげ山や崩壊地を森林に復元し、災害の未然防止と地域住民の安全・安心に寄与しています。